

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第7回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会
開 催 日 時	平成22年12月13日（月）午後6時30分～午後8時30分
開 催 場 所	緑が丘ふれあいセンター 男女共同参画センター学習室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：足立幸夫、榎本茂子、小川榮子、栗原誠、関根明美、高橋眞澄、 東宮玲子、森林育代、渡辺真紀子 欠席者：重野吉幸 事務局：地域振興課長、地域振興課主査、地域振興課主事
報 告 事 項	1 第6回男女共同参画推進市民委員会の会議録について 2 情報誌「YOU・I」第23号について 3 その他
議 題	1 男女共同参画推進状況調査について 2 第11回YOU・Iフォーラムについて 3 清瀬市男女共同参画センター視察について 4 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 男女共同参画推進状況調査について ・前回と今回出た意見を市民委員会からの全体の報告としてまとめる。 議題2 第11回YOU・Iフォーラムについて ・進行要領（案）を確認し、役割分担を決定した。 議題3 清瀬市男女共同参画センター視察について ・アイレックサポーターや庁内の連携方法も含んだ質問事項をまとめ、清瀬市に送付する。 議題4 その他 ・清瀬市男女共同参画センター視察 平成23年1月27日（木）午前9時15分ふれあいセンター集合。 ・第11回YOU・Iフォーラム 2月6日（日）午後1時市民会館小ホール集合。 ・第10回会議 2月14日（月）午後6時30分開催。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) ○印：委員 ●印：事務局	議題1 男女共同参画推進状況調査について ○ 情報誌「YOU・I」が見やすく、変わったことが前進だと思う。それは委員会の進歩だと思う。 ● 情報誌「YOU・I」23号は、テーマがイクメンということもあり、テマリ第二保育園の園長がきらめき女性会議21の委員であることから、テマリ第二保育園の保護者にも配布することができた。 ○ 全保育園に配布できるようになれば更にいい。 ○ フォーラムのチラシも成人式に配布できたらいいと思う。各課の事業を関連付けて、つなげていくことを考えていくべきではないか。 ○ 一般市民がどれだけフォーラムを認知しているのか。男女共同参画について知る機会が少なく、知ってもらうことは容易ではない。 ○ 認知度を高めるためには、足元から地道な努力をしていくことが活力になると思う。 ○ 男女共同参画センターの情報コーナーが整理されておらず、本が探しにくい。「A」という自己評価だが、図書の整理をし、見やすい工夫をしていくべきではないか。 ○ 具体的施策で「職員に対する研修」とあり、根拠で「変則勤務で実施できない」というものがあつたが、それは実施できない理由なのか。研

修というのは、全員が集まるだけではなく、何回かに分けて開催したり、テキストを配布するなど方法があると思う。

- 職員研修の実施で「B」という評価であっても、根拠は「男女共同参画社会形成研修の回数1回、受講者2名」である。それぞれ目指していることが統一されていないので、評価があいまいである。
- 一つの目標に向かっているという印象を受けない。市として男女共同参画の課題をどう捉え、どういう方向に進みたいのかを決め、各課で共通理解をしていくことが必要である。そして、対策を考え、市民に知らせていくべきである。市全体で男女共同参画を知らせていきたいというのであれば、方法はいくらでもあると思う。また、その結果市民にどれだけ浸透したのか、反響を知らないという意味がない。
- 業務を与えられ、やったかどうかのチェックリストになってしまっている。意識を高めるための調査のはずが、本来の目的から外れている。
- 男女共同参画の目的や意識を一元化してもらいたい。それからどの程度推進しているかが調査に必要だと思う。市職員がどれくらい男女共同参画を理解して、計画に沿って仕事をしているか分からない。結局は庁内の連携が取れていないために、無駄も生じていると思う。
- 全体的に、同じようなことをやろうとしているので、連携を図るべきだと思う。地域振興課が関わることが多いので、他の部署を巻き込んでいくようにしていくべきである。
- 行政のつながりがいい。いいことをしているのに、もったいない。人が関心を持つ方法を考えなければいけないと思う。
- すぐに結果が出るかは分からないが、やらなければ一歩も進めない。推進状況調査にしても、市民の目からチェックすることは大事である。
- 各課とのコミュニケーションを図るべきである。
- 庁内に男女共同参画を周知するため、庁内掲示板を利用して職員に周知を図っている。
- 意識の連携でもいいと思う。例えば、イクメンマークを全職員が着けることで、庁内にも意識が高まり、またイクメンマークを見た市民にも男女共同参画の意識が広がると思う。
- 今回の委員会で出した意見を市民の意見として、広めていくことが大切だと思う。
- 例えば、2つの課で連携してフォーラムを開催すれば、また違った角度から少しでも浸透していけるのではないかな。
- 2つの課で、協力し実施した成功例を、実績とし、一段一段積み重ねることで、協力関係が大きく育っていくと思う。接点の高いところから連携を進めてもらえたらいいと思う。
- 自分の仕事が、男女共同参画の視点から言うとどのように関わっているのかを知ることが必要である。
- 「中学校において職場体験を実施」とあるが、体験職場を選択する段階で、きちんと男女共同参画の視点からの説明があったのだろうか。男子は工場、女子は保育園というような観点はなかっただろうか。
- 前回と今回の委員会が出た意見を、市民委員会からの意見として報告したいと考えている。また、新年度に、平成22年度の推進状況調査を実施する予定なので、その際は調査票についても委員会から意見をいただきたいと考えている。

議題2 第11回YOU・Iフォーラムについて

- 当日の進行について、事務局から説明。
- 当日の役割分担を決めてもらいたい。

	<p>－調整－</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講師送迎係は渡辺委員、進行係は森林委員、受付係は栗原委員、高橋委員、小川委員及び重野委員、会場整理・マイク係は関根委員及び足立委員、花束贈呈係は東宮委員及び榎本委員と決定する。 ○ 申込みはいつからできるのか。 ● 1月1日付市報に掲載し、1月4日から申込受付開始とする。 ○ ポスターはいつできるのか。 ● 12月末までには完成させ、市掲示板を中心に貼る予定である。 <p>議題3 清瀬市男女共同参画センター視察について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 清瀬市男女共同参画センターへの質問内容について意見をいただきたい。 ○ アイレックサポーターはボランティアとなっているが、どのような人が活動しているのか。また、募集方法、人数、活動頻度、内容についても聞きたい。 ○ サポーターのチームの中で現在休止中もあるようだが、そうした場合どうしているのか。チームの数も多いが、同じ人がかけもちをしたりしているのか。 ○ 男女共同参画に関する委員会が多くあるようだが、どの位多くの人に関わっているのか。委員会を分けることにより、メリットがあるのか。 ○ 推進委員と広報担当が別の担当者だと、どのように意思統一をし広報しているのか。情報誌は全戸配布ということだが、部数と予算について知りたい。 ○ サポーターはボランティアということで無償だと思うが、ボランティアは待遇面が難しいと思う。 ○ 男女共同参画センター運営委員会に市職員が委員に入っているが、庁内での横の連携の取り方について聞きたい。 ● 前回の東久留米市男女平等推進センターへの質問事項とも照らし合わせ、今回の意見を質問事項として盛り込みたい。案ができれば、委員に確認してもらおう予定である。 <p>議題4 その他（次回会議開催日程）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次回会議は、平成23年1月27日（木）清瀬市男女共同参画センター視察としており、午前9時15分に緑が丘ふれあいセンターに集合してもらいたい。また、2月6日（日）第11回YOU・Iフォーラムは、午後1時に市民会館に集合してもらいたい。第10回会議は、2月14日（月）午後6時30分から男女共同参画センターで開催する。
--	---

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 []	傍聴者： _____ 0 人
-------------	---	----------------

会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： _____） <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： _____）
--------------	---

庶務担当課	市民生活部 地域振興課	（内線： 225 ）
-------	-------------	------------

（日本工業規格A列4番）